

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



DISTRICT 360

ICHISABURO YAMADA

THE CHUKYO SOGO BANK, LTD.
3-33-13, SAKAE, NAKA-KU
NAGOYA, JAPAN 460-91

山田市三郎

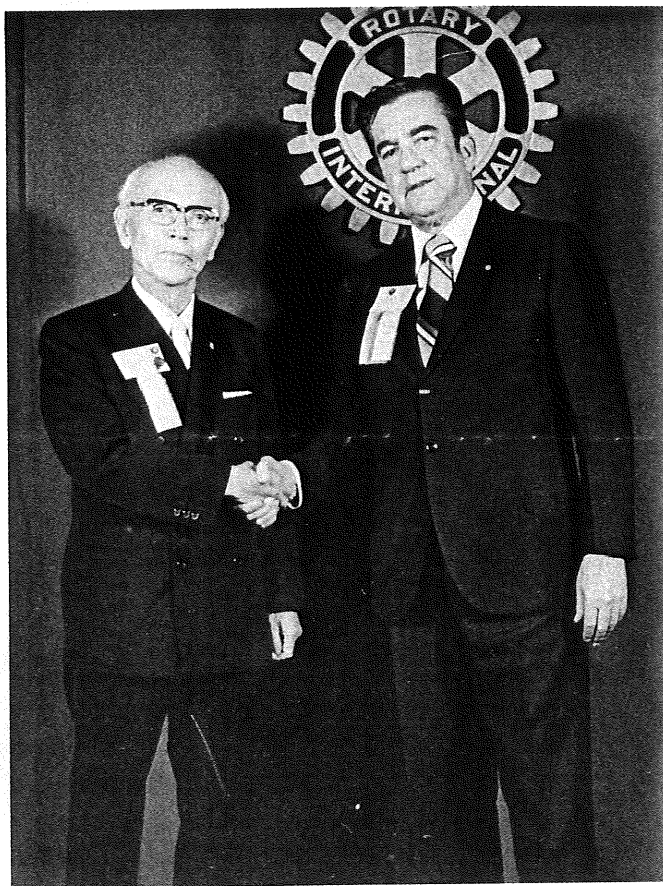
国際ロータリー第360地区 ガバナー事務所
名古屋市中区栄三丁目33-13
中京相互銀行 7階

No.1 JULY 1975

●ガバナー月信 第1号 昭和50年7月1日

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！



31.1
冊子796
ロータリー文庫

◀国際ロータリー

1975年度国際協議会

米国フロリダ州ボカ・ラトンにおけるエ
ルネスト・インバツサイ・デ・メロ新会
長招待会食会にて

1975～'76年度

R.I.会長メッセージ



ロータリアン諸君：

われわれは、同一の方向を目差す共通の理想を**持っています**—私共自身の**考え**に基づいて。

われわれは、受諾と同意によってロータリーに参加しました—私共自身の**意志**によって。

われわれは、多種多様の活動をしています。個人の活動もあれば団体活動もあります。通例は地元での活動ですが、広範囲に及ぶ場合もあります。その目標は、人と人、民族と民族、国民と国民の間の偏見を取り去り、理解を促進して、創造性のある生活と平和な環境を打ち建てることにあります—これは私共の**行動**によるものです。

今日の世界には、四方八方から吹きまくる旋風の渦に巻き込まれているさまざまな思想があり、勝手気儘な考え方や、破壊の勢力によってかもし出されるさまざまな行動があります。

疑いもなく、私共の時代は困難な時代です。人類の生活に対する脅威は日増しに圧倒的になっています。そして、今や全人類が危険にさらされ、危急存亡の瀬戸際に立っています。

この挑戦に対して、われわれは、良心と責任ある指導力を結集してこれに当らなければなりません。

せん。われわれは、皆この挑戦に巻き込まれているのであります。われわれは、この挑戦を受ける社会構造の一部なので、われわれは、もっと積極的に邁進しなければなりません。

あなたはロータリーです。あなたのクラブもロータリーです。国際ロータリーもまたロータリーなのです。それ故に、われわれは、時と処を問わず、ロータリアンとしての姿勢を確立しようとするとき、またロータリーが一つの事柄を成し遂げようとするとき、常に一体であり、そして考え方においても一体であるべきです。

人間はすべての中心であり、その尺度なのです。組織が人間に価値を与えるのではなくて、人間が組織に価値を与えるのです。われわれの組織、ロータリーという団体は、この上ともその価値を高めることをわれわれに期待しています。

あらゆる面において人間の威信を重んずること—即ちその人権を尊重し、仕事上および教養面における業績を尊重し、そして知性と精神的価値を尊重することは、善意に導く確実な道であり、われわれが待望してやまない各人、各民族および各国国民間の理解に導く確実な道、即ち平和への道なのであります。

敬 具

わがロータリーの友よ：

われわれのプログラムは、**ロータリーのプログラム**です。

この**プログラム**は、研究を促し、やる気を起こさせ、想像力への視界を開き、それによって、ロータリアンを総動員して行動に立ちあがらせようとするものです。

今日の困難な時期に際して、われわれは、次のように行動を強化しなければなりません：

1. われわれのクラブが、友情、親睦によって団結を固め、活動的かつ友好的であることによって地域社会において真に威信ある地位を保つよう、各自その分を尽すこと。
2. われわれの行動の尊さをはっきり示すために、それぞれの実業人または専門職業人としての活動を捧げること。また、われわれの生活の質の向上をはかるために、われわれの知識を活用すること。
3. 個人として、あるいはクラブのプログラムに参加することによって、または既存の諸機関を援助することによって、地域社会のための仕事とサービスに協力すること。



▲国際協議会場となった
BOCA RATON HOTEL AND CLUB

4. 断乎として、子供と若人、特に保護者のいない、よるべなきこれらの人達のために骨を折って、かれらが食物と書物を与えられ、そして人間として品位ある将来を期待し得るようにつとめること。そして、インターアクト、ローターアクトその他の青少年プログラムに関与すること。
5. 国民として、自国のために献身すること。同時に、他のすべての国民を尊重することは世界市民の構想への希望につながることを忘れないこと。
6. ロータリー財団に協力し、世界社会奉仕、国際青少年交換、国際学生交換、およびその他の、人と人、民族と民族および国民と国民の間の相互知識とより良き理解を推進するあらゆるプログラムに協力すること。



エルネスト・インバッサイ・デ・メロ
ニテロイ・ロータリー・クラブ
ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ
1975-76年度国際ロータリー会長

略 歴

1935年 Niteroi RC に入会、クラブ会長、地区ガバナー、RI 第二副会長、理事、委員長を歴任し、現在定款細則委員会委員。リオ・デ・ジャネイロに於ける法律家で、Minas Gerais州のセメント製造会社の役員であります。今日まで幾多の施設会社の役員、又は法律顧問を務められた。リオ市の出生でリオ・デ・ジャネイロ大学を卒業。



1975～'76年度

■ガバナーあいさつ

全知全能を傾けて

■第360地区 ガバナー

山田市三郎

360地区のロータリアンの皆さん、われわれはここに1975年の7月1日の旭光を仰ぐことになりました。ロータリアンとして、めでたく元旦を迎えたのであります。私は当地区のガバナーとして、この一ヶ年全知全能を傾けて、地区ロータリーのために、微力ながら、精進をして参りたいと存じます。何卒ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

私は、本年の5月29日から6月5日にわたり開催された国際協議会に、出席いたしました。開催地はU.S.A.のフロリダ州のBoca Ratonでありまして、日本流に言えば文字通りの白砂青松、風光明媚の地、亜熱帯の空は、あくまでも紺青に、海は底知れぬコバルトブルーの小波におおわれていました。

協議会場は絶好のHotel and Clubで、数日間にもわたり、楽しい空気の中で、熱意と希望とをもって、Assemblyはすすめられました。本会議とグループ別ディスカッションが続く中に、

われわれは非常に深い感銘をきざまれました。

今年度の会長インバッサイさんのメッセージは、TO DIGNIFY THE HUMAN BEING(人間に威信を!)であります。あらゆる面において、人間の威信を重んずること——即ちその人権を尊重し、仕事上及び教養面における業績を尊重し、そして知性と精神的価値を尊重することは、善意に導く確実な道であり、われわれが待望してやまない、各人、各民族、及び各国国民間の理解に導く確実な道、即ち平和への道なのであります。インバッサイ会長のメッセージによって、今年度われわれの進むべき大方針は明示されたのであります。

ロータリーは、自己のために、利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする義務感と、それに伴う衝動との間に常に起こる争いを和解させようとする、人生の哲学であります。この哲学は奉仕即ち「超我の奉仕」の哲学であり、「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる。」という実践倫理の原理に基づいています。奉仕するものは、活動しなければならないのであるから、ロータリーは単なる心の持ち方のみでなく、又ロータリーの哲学も、単に主観的なものではなくて、実際の行動に移さなければなりません。

従って、個々のロータリー会員も、ロータリークラブも、奉仕の理論を実践しなければならないのであります。

道元禅師の歌に「春は花、夏ほととぎす、秋は月、冬雪冴えて涼しかりけり」とあります。日本の国ほど、美しい国、自然美にめぐまれた国はありません。美しい環境の中に育った国民の心は、自ら美しい。この美しい日本のロータリークラブに、世界にたぐいなく美しい情緒あふる雰囲気をつくりましょう。

われわれは全力をあげて、ロータリー精神の高揚につとめましょう。そして、ハーシェルの言葉のように、“We should do our best to leave the Rotary in Japan better than we found it.”の覚悟をこの年度の初めの船出にあたって、新たにいたそうではありませんか。

鮎谷直前ガバナーに 対する謝辞

第360地区ガバナー
山田市三郎

鮎谷さん誠に一ヶ年間ご苦勞様でした。ここに 360地区のロータリアン全員を代表して、あなたのご勞苦ご精進にたいし、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

R.I.の前会長ビルさんは、この度のボカラートの国際協議会において、またモントリオールの国際年次大会において、「楽しい日は必ず終わるものであります」と、惜別の辞をのべられ、一抹のさみしさを感じさせられました。

これからパストガバナーとして、又委員長と



▲地区協議会であいさつする 鮎谷直前ガバナー

してなど、永くご指導を仰ぐことができますが、やはりなにかしら、心の底に淡い寂寞の情がかげることはいかんともいたすことができません。

鮎谷さんは、ナショナルシティバンクの理事名古屋支店長として、ロスアンゼルスの名誉市民として、又いくたの国際団体の指導者として、中部日本のために貢献されましたことは、衆知のところであります。

この国際人としてご交際の範囲がひろく、英語にご堪能なことは、国際ロータリーのガバナーとしてご活躍される第一の必要条件をみたしたのです。

老来愈、矍鑠たる健康を保持され、温厚なるお人柄の中に、もゆるが如き若き情熱をもって 360地区ロータリーの発展と浄化と合理化とを綿密に計画し、着々とこれを実行に移されました。夜10時過ぎまでもガバナー事務所の電燈が、あかあかとついているのは、珍らしいことではありませんでした。

鮎谷さんのご精進により、360地区のロータリーは面目を一新いたしました。この一ヶ年にわたるご精進と、のこされたるご功績は、ただに愛知、長野両県のロータリーのみならず、広く日本ロータリーの歴史の上に永く銘記されることでありましょう。

どうか、今後もパストガバナーとして、360地区のロータリアンをご指導ご援助下さるようお願い申し上げる次第であります。

1975～'76年度 ガバナー公式訪問日程表(7月～9月)

7 月	8 月	9 月
8日(火) 犬 山	1日(金) 春 日 井	27日(水) 飯 田
9日(水) 名 古 屋 南	5日(火) 松 本 西 南	28日(木) 伊 那
11日(金) 津 島	6日(水) 長 野 東	29日(金) 箕 輪
17日(木) 一 宮	7日(木) 丸 子	10日(水) 小 牧
21日(月) 松 本 南	8日(金) 諏 訪	11日(木) 松 川
22日(火) 木 曽	11日(月) あ ま	12日(金) 飯 田 南
28日(月) 上 田	13日(水) 稲 沢	22日(月) 駒 ケ 根
29日(火) 岡 谷	20日(水) 大 町	23日(火) 飯 島
	21日(木) 中 野	25日(木) 松 本
	22日(金) 白 馬	26日(金) 戸 倉 上 山 田

1975—'76年度地区役員及び委員会委員

◎委員長 ○小委員長

地区幹事 赤津賢太郎(名古屋南)
地区会計長 長谷川栄一(名古屋)
地区諮問委員会 内藤卯三郎(岡崎)
神野太郎(豊橋)
近藤友右衛門(名古屋)
滝沢卓夫(松本)
伊藤次郎左衛門(名古屋)
佐藤知雄(名古屋東)
安野譲次(一宮)
原享二(飯田)
鮎谷賢太郎(名古屋)
地区指名委員会 山田市三郎(名古屋南)
鮎谷賢太郎(名古屋)
原享二(飯田)
安野譲次(一宮)
分 区 代 理 佐藤知雄(名古屋東)
田辺三郎(常滑)
大竹和美(あま)
小森久夫(豊橋南)
渡辺末次郎(豊田)
夏目幸一郎(長野東)
島恒治(松本南)
桃沢茂雄(飯島)
クラブ奉仕委員会◎森泰樹(豊橋)
北秀之(春日井)
小林益三(小諸)
池上真通(松本南)
職業分類委員会 ◎安野譲次(一宮)
吉原久夫(津島)
後藤新三(飯田)
前田長八(名古屋東)
会員増強委員会 ◎原享二(飯田)
池上英雄(辰野)
清水芳二(豊橋北)
堀田逞二(名古屋中)
拡大委員会 ◎滝沢卓夫(松本)
加藤邦太郎(長野)
伊藤健児(豊橋)
高橋得三(名古屋西)
広報委員会 ◎鈴木敏三郎(名古屋南)
石井武夫(名古屋港)
ロータリー財団委員会
◎近藤友右衛門(名古屋)
①財団教育補助金委員会
○小山福松(名古屋和合)
岩田嘉七(名古屋北)
吉田市郎(名古屋)
②財団学友委員会○伊藤長一(名古屋西)
林達夫(名古屋南)
早稻田国勝(瀬戸)

③財団推進委員会○伊藤次郎左衛門(名古屋)
植松唯四郎(碧南)
北野幾造(長野)
④研究グループ交換委員会
○鮎谷賢太郎(名古屋)
神野太郎(豊橋)
堀内忠夫(諏訪)
酒井博(駒ヶ根)
磯村浩隆(豊橋)
青少年交換委員会◎佐藤知雄(名古屋東)
鈴木武二(名古屋)
清水武吉(松本)
加藤一三(名古屋北)
志賀為久(岡崎)
柳沢方(丸子)
インターアクト委員会
◎大村竹治(岡崎)
折井正達(松本)
梅村清弘(名古屋東)
松尾宗倫(名古屋)
ローターアクト委員会
◎中西正雄(岡崎)
沢田富之助(一宮)
山田昇平(名古屋中)
高木信雄(松本西南)
山田吉男(田原)
世界社会奉仕委員会
◎稲垣実(名古屋)
神野三男(名古屋西)
矢沢重幸(駒ヶ根)
光嶋督(軽井沢)
世界親睦委員会 ◎水野民也(名古屋東)
井上六郎(松本)
瓜生修一(名古屋守山)
米山記念奨学委員会
◎山本貞(豊橋)
加藤庄一(岡崎)
岡山巖(名古屋和合)
雑誌委員会 ◎河合利周(名古屋北)
平林泰雄(大町)
谷清(西尾)
オンツニューオルリーズ
藤原正男(諏訪)
地区資金委員会 ◎長谷川栄一(名古屋)
大森喜代三郎(一宮)
丸山昌寿(飯田)
杉田泰三(豊橋)
ロータリーの友編集委員会
石川和昌(豊橋)

1975～'76年度クラブ幹事送金及び報告

	事 項	金 額	期 日	報 告 先	送 金 先
R I 関 係 ・ 其 の 他	①本部分担金	半期¥1,740(6ドル) ×7月1日現在会員数	7月1日 (上半期) 1日1日 (下半期)	1.R.I.事務局 2.(写)国際ロータリー 在日財務代行者 柏原孫左衛門口座 No.968-049 3.(写)地区ガバナー	国際ロータリー在日財務 代行者 柏原孫左衛門口座 No.968-049
	②ロータリアン誌	半期¥580(2ドル)× 購読者数			
	③ロータリー財団 寄付 (ポールハリスフ ェローを含む)	半期¥290(1ドル)× 7月1日会員数 但し、新入会員 ¥2,900(10ドル)+ ¥290(1ドル)			
	④米山記念奨学金 寄付	半期¥750+α× 7月1日現在会員数	7月1日 1月1日	米山記念奨学会	三井銀行東京支店又は 京橋支店口座
	⑤ロータリーの友 購読料	半期¥1,160(4ドル) ×購読者数	7月1日 1月1日	「ロータリーの友」 編集事務所	三井銀行丸の内支店 口座
地 区 関 係	①地区資金	¥1,000×現在会員数	上半期分 7月1日 下半期分 1月1日	R.I.360区 地区資金委員長	東海銀行御園支店 No.516-189(普通) 国際ロータリー 第360地区資金委員会 委員長 長谷川栄一
	②日本ロータリー 連絡委員会基金	¥50× "	"	"	"
	③ロータリー文庫 運営協力金	¥50× "	"	"	"
	④世界社会奉仕委 員会基金	¥150× "	"	"	"
	⑤青少年交換委員 会基金	¥500× "	"	"	"
	⑥研究グループ協 力費	¥500× "	"	"	"
	⑦年次大会分担金	¥2,500× "	全 期 分	"	"
	⑧1978年世界大会 提出金	¥1,000× "	上半期分 7月1日 下半期分 1月1日	"	"

(注) 1ドル=¥290

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！



山田市三郎

国際ロータリー第360地区

ガバナー事務所

〒460-91

名古屋市中区栄三丁目33-13

中京相互銀行7階

☎名古屋(052)262-6111 (交換)

☎名古屋(052)262-2505 (直通)

地区幹事 赤津賢太郎

(名古屋南ロータリークラブ)

専任職員 松永博臣

(中京相互銀行秘書役)

同 鷺巣きく子

同 藤谷真琴